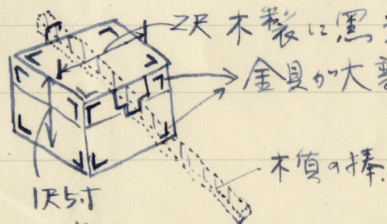


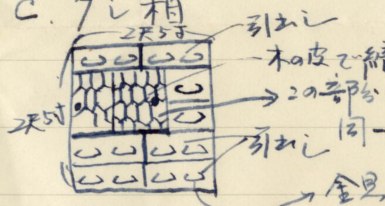
A. ツース
大高昔のツースです。(明治時代前)
店渡の値段は 2,500.- ~ 3,000.-
木値キリ 金具 シヤウは黒の付し
(現在は大高粗末のツースが、122仕立のツースと立派の品に出まると
思いますが、勿論値段は上りの値段ではありませぬので仕立は、1,500.- 位の
2,000.- 位 必要だと思います。

B. 木製ハサミ箱 (外に名がある事)



2R 木製に黒の付し 店渡 3,000.- 位に多少安くする事もある。
金具が大高立派です。若武士の旅する時にハサミ、ハカキを入れた持ちせむ着物入れ。
現在表蓋にその様の品が残っている。
木製の棒
ですから内部を少し改造すると思ふにアメリカ人の物のなるにせう。

C. 7ツ箱



明治時代の品 店渡 2,900.-
引き出し 木皮で織り文様の品もある
2R5T → 20部以内の面が有る(同様に
引き出し 同一の引き出し金具を著するにしようとする。
金具

D. はんの小箱




この小箱は支那でお来たもので全部シヤウでお来た立派な昔日本を賣く田舎で
見るスリ箱の様に見える品ですが金具が立派な事は一段目、三段目にカギが
11ツ分一番上の処は上下に開く事もある。
一寸アメリカのゼンリイケースに似ている。
アメリカの家庭で貴金庫に入れた衣類や様に思われする。
勿論現在はラッカー仕立の倉津塗の貴金庫に入れた物や小工に
のびる物の小箱でも木製の仕立の品は有る。
カートボックスに似た形の手紙入れには上乗せする。

¥ 1,800.- 店渡に改造する必要は有るがデザインは大高向の鈴木様の品は同
様の形にセウリイ、ケースの カートボックスを漆器で作ると思ふに思はる。

E. イマリ (九州産)

運箱ヤウ(大ヤウ) 私の先般申上りた大ヤウはイマリではありませぬ

三色イマリ丸  立派な個業の丸影の品に有る。20124 ~ ¥1,000.- 四角イマリ ¥2,500.-
20124 ~ 18124 18124 ~ ¥1,000.-

Terutomi Maruyama
Minamimuro, Ichinomiya
Yamanashi-Ken.
Japan



Mrs Tami Takahashi
1661 Post Street
San Francisco, 15. Calif
U. S. A.

PAR AVION
航空郵便